

公園点描、ぶらり歩けば

週末は、散歩を心がけている。まだ肌寒いのが、穏やかに晴れた日の午後は心地よい。お気に入りは大濠公園と舞鶴公園。水面を舞い飛ぶ水鳥の群れを眺めたりして、ゆったりと一人時間を楽しむ。

某日、家族連れとすれ違いざま、子どもの声が聞こえてきた。「ユニバーサルデザインって知ってる？ 障がいのある無しに関係なく、誰でも使えるようにしてるデザインなんだって」。傍らの父親は知っているようだが、「へえ、そうなんだ」と、わざと驚いたふりをして子どもとの会話を楽しんでいる様子だ。

古代の迎賓館があった鴻臚館跡を歩けば、自転車に乗ったお年寄りから「ここは平和台球場だったんや。よう試合ば観に来よった」と話しかけられた。少し寂しげな姿に、「もしかすると、ひとり暮らしで話し相手が欲しいのかも」と勝手な想像が膨らんだ。

愛犬と散歩している人同士だと、じゃれ合う犬を介して、見ず知らずでも自然な会話が成り立つだろう。ところが、何のきっかけもなく人に話しかけるのは不自然だし、今のご時世、不審がられもするに違いない。

友達づくりを目的としたシニア対象の懇親会案内を新聞でよく見かけるが、年を重ねるほどに、話し相手という存在がこよなく大切になるのかもしれない。我が身に重ねてそう思う。

(数)

ゴルフ場に見るジェンダーギャップ

夫と一緒にコースを回るようになって早10年。月1ゴルフで飛距離が出ない私なので、赤ティー（レディースティー）から、青空の下、マスクを外して、クラブを振る爽快感。ストレスも一気に吹き飛ばす。

ところが、最近、どこのゴルフ場も混みあっている。平日であっても、ホール間の待ちが発生。

経済産業省の調査によると、2021年のゴルフ場入場者数は1000万人を超えたとのこと。（特定サービス産業動態統計）これはコロナ禍以前の2019年と比較すると27.9%という大幅増になっている。

この人気は競技の特性上、3密のリスクが少ないためとも言われているし、識者によると、コロナ禍で薄れてしまった人との関わりを求めていることではないかとも。

中でも若年層、女性が増加しているらしい。女性客を取り込もうと、ゴルフ場の中にはパウダールーム等の施設の整備を進めているところも。ありがたいが、もっと力を入れて欲しいことが。

「このホール、何ヤード？」

どこを見ても何を見ても距離が不明な赤ティー。しかも、地面が平らではなく、傾いているティーグラウンドも。「男性と同じ料金を払っているのに…。女性は歓迎されていない。」と感じるのは私だけだろうか。

3月8日は国際女性デー。つい最近まで女人禁制だったイギリスの名門クラブもあると聞く。全ての人がゴルフの楽しさを分かち合える社会でありたい。

(淀川)

CONTENTS 「主な内容」

- こころのオルゴールのマンガ紹介 1P
- 別府校区人尊協「まちが好きに、人を大切に」..... 2P
- 福岡市人権尊重作品紹介（令和3年度入選作品）..... 3P
- 人権啓発推進指導員のコーナー、おすすめ作品の紹介 4P



人権ラジオ番組をマンガに 学校や職場で活用を

ふくおかしじんけんけいはつ
福岡市人権啓発センター

福岡市が制作する人権ラジオ番組「こころのオルゴール」（令和4年度版）がマンガ本になりました。マンガにしたのは全ドラマ15本のうち、▽「すぐそばにいませんか、ヤングケアラー」（子ども）▽「ヘイトスピーチを許さない社会へ」（外国人）▽「普通」「当たり前」に傷つくことも」（性的マイノリティ）の3本。1部8ページ、A5判サイズ。学校や職場での人権教育、啓発に活用してください。無料で提供します（部数については要相談）。令和2～3年度版もあります。

また、セリフ入りの動画「モーションコミック」も制作しました。福岡市人権啓発センターのホームページからYouTubeで閲覧できます。

ココロセンター ライブラリー 新刊紹介！

人権問題に関する書籍、まんが、絵本、DVDを入荷しました。貸出を行っています。ぜひ、ご利用ください。

書籍「差別はたいてい悪意のない人がする — 見えない排除に気づくための10章 —」

著者：キム ジヘ 発行所：大月書店

「私は差別はしていない、私には関係ない。」という見方を変えてくれる思索エッセイです。韓国で16万部突破のベストセラーになったそうです。

筆者は韓国の大学の研究者で、差別に関わる科学的で理論的なとらえ方と、韓国における差別の事例が数多く述べられます。読み進めていくと、韓国のことなのに、日本でも、差別の構造が似通っていることに気づかされます。外の目で、自分の国にある差別の現実を見直すことができる本とも言えます。

特に、印象的だった文を2つ紹介します。

「差別とは、2つの集団を比較する二分法に見えるが、その二分法を複数の次元に重ねて立体的に見てこそ、差別の現実を多少なりと理解することができるのだ。」（本文p63より引用）
「何気なく、（いたずらで）投げた小石にカエルは打たれて死ぬ。」（本文p226より引用）



「ココロセンターだより」No.91 発行：令和5年3月 福岡市人権啓発センター

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号健康づくりサポートセンター（あいねふ）8階 TEL092(717)1237 FAX092(724)5162

E-mail:jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp

TEL092(717)1247(人権啓発相談室では人権問題に関する相談を受け付けています)

ココロセンター 福岡

検索



法務省委託事業

お問い合わせ

福岡市人権啓発センター 092(717)1237

